


おかしなチョコ
チップクッキー



ショートショート



greentea0117



おかしなチョコチップクッキー

あるところにチョコチップクッキーがありました。チョコチップクッキーはいつも自分の中にあるチョコチップの数を数えていました。

「1、2、3・・・うん、24、ぼくの体の中には24こもチョコチップがあるぞ」

チョコチップクッキーは自慢でした。ところで、チョコチップクッキーは他のチョコチップクッキーと一緒に箱の中におさまっていました。他のチョコチップクッキーは自分のチョコチップの数を数えたりはしません。じっとおとなしく箱の中におさまっていました。

「ねえきみのチョコチップはいくつ？」

チョコチップクッキーはたずねました。

「さあね、数えたこともないからね」

「数えてみたら？」

「べつにいいよ。きっときみと同じくらいだよ。同じ工場で作られたんだから」

「そうだったっけ？」

「そうだよ、覚えてないの？」

「うん、覚えてない」

チョコチップクッキーは自分のチョコチップの数を数えるのに夢中で、昔のことは忘れていたのです。

「なんにしても、数えてみたら？」

「そんなに言うなら・・・1、2、3・・・うん、20くらいかな、やっぱりきみと同じくらいだよ」

「一枚のクッキーにそんなにたくさんのチョコチップが入ってるなんて、すごいと思わない？」

「うーん、考えたこともなかったけど、言われてみたらそうかもね。一枚に20こは多いかも」

「だろ、だろ？」

2枚が話していると他のクッキーも耳をすませました。

「なんの話？」

「自分にいくつのチョコチップがあるかって話」

チョコチップクッキーは言いました。

「そんなの数えてどうなるの？」

「いいから数えてごらんよ、けっこうあるから」

箱の中のチョコチップクッキーたちは数えました。1、2、3、みんなだいたい20こくらいです。

「一枚に20このチョコチップは多いと思うんだ。ぼくは24こあるよ」

チョコチップクッキーは言いました。

「うーん、そうかもねえ、考えたことなかったけど、一枚に20こは多いね。自分にそんなにぎっしりチョコチップが入ってるとは思わなかったよ」

クッキーは体をなでまわしてみました。

「それにしても、誰もぼくらを食べないね。スーパーで買われてからずいぶんたつと思うんだけど」

クッキーは言いました。

「そうだねえ。でも、僕の中には24こものチョコチップがあるんだ、もうしばらくはそのことを味わっていたいよ。いっそのことずっと味わっていたいよ」

チョコチップクッキーは言いました。